

## 2018年8月19日 主日礼拝

プレイズ

奏 楽

賛 美 聖歌503番「主の御手に頼る日は」  
(ほめよイエスの御名を)(栄光から栄光へと)

ヤベツの祈り

聖 書 ①ルカによる福音書 12章16～22節(p.109)  
②コリント人への第一の手紙 1章18～25節(p.257)

音 楽 アブラハム会

メッセージ ①「命のことで思いわずらうな」 小林詩音伝道師  
②「神の愚かさは、強い」 大川従道牧師

賛 美 「カルバリーの十字架」(399番・献金)

頌 栄 「主の祈り」 アーメン

祝 禱

「十字架の言は、滅び行く者には愚かであるが、  
救いにあずかるわたしたちには、神の力である。」  
(第一コリント一の十八)

### 【町田ニュース】

- ・ 残暑見舞い申し上げます。熱中症にならないようお気を付けください。(信仰には熱中するよう)。病と闘っている愛兄弟を忘れずに祈りましょう。
- ・ しその葉を差し上げます。
- ・ 本日午後5時から**東京カルバリーチャペル**。説教は大川牧師。
- ・ 朝6時から「**早天祈禱会**」が祝されています(今週は月、火、水、木、金、土)。
  - ・ 今週も祈禱会を大切に(Y)。水曜夜は丸藤伝道師、木曜朝は大野M主事、金曜夜は佐々木伝道師が説教。
- ・ 祝、ご誕生。大塚従君(23日)
- ・ 今週も宿題に従って、**聖書通読・Q.T.**しましょう。



## 畑の中の宝物

倉知先生の2回の説教を通して、信仰と科学は共存するものであることが語られ、大変ためになりました。まだ見ていない方は必見です。

「科学者はなぜ神を信じるのか」という書物を通して、教えられたことの一つは信仰と科学は対立するかのような誤解を世に与えた「ガリレオ裁判」について、なぜ当時の教会が地動説を受け容れなかったかの理解が与えられたことです。

実は、「地動説」という考え方は、紀元前5世紀、ピタゴラスの定理で有名なピタゴラスが最初に唱えたものでした。ピタゴラスは、すでに地球は自転し、公転もしていることまで発見していました。ところが、後に現れた西洋最大の哲学者ともいわれるアリストテレスによって、地動説は否定されてしまいます。アリストテレスは、宇宙の中心は「土」つまり下方にあるという考えがあったので、宇宙の中心が上にあるという地動説を受け容れることができませんでした。

14世紀。教会は自分たちの権力を擁護するため、教会の公認した考えのみを「正統」とし、それに反する考えを「異端」としました。そして神学者トマス＝アクイナスの名著「神学大全」を教会公認のテキストとしました。彼がアリストテレスの天動説を取り入れていたため、天動説が公認の宇宙観となりました。

16世紀。大航海時代がやってきて、火星の明るさが季節によって変わったり、蛇行運動していることが明らかになり、その謎を解くために、信者だったコペルニクスが地動説を唱えました。コペルニクスは穏やかに唱えたため裁判を免れましたが、同じく地動説を唱えたガリレオは宗教裁判にかけられ、処罰を受けました。ルターもヨシュアの「日よ、とどまれ」との聖書の言葉から非難しました。1973年、ヨハネパウロ2世は聖書の文字通りの意味にあまりに固執したこと、ガリレオ裁判が過ちだったことを認め、ガリレオに謝罪しその名誉を回復しました。

教会は、「聖書と自然はともに神の言葉から生じたもので、前者は聖霊が述べたものであり、後者は神の命令の忠実な執行者である。二つの真理が対立しあうことはありえない。したがって、必然的な証明によって我々が確信した自然科学的結論と一致するように、聖書の章句の真の意味を見出すことは注解者の任務である。」とのガリレオの言葉を正しいと認めました。 大塚 信頼

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう。

Aコース:ローマ11章～16章 Bコース:詩編93篇～111篇